

次期北九州市健康づくり推進プラン指標

目標値の設定の考え方

目標値の設定については下記優先順位順に設定している。

- 優先順位1…他計画で目標値を設定しているものは、その計画に記載の目標値を記載
- 優先順位2…他計画で目標を設定していない場合で、国が目標値を設定しているものは、国の目標値を参考に設定
- 優先順位3…国の値と市の現状値が解離している等、目標値設定として沿わないものは、独自で算出し、目標値を設定

目標年度については、下記優先順位順に設定している。

- 優先順位1…他計画で目標値を設定しているものはその年度を記載
- 優先順位2…他計画で目標値を設定しているもの以外は、次期プラン評価予定の令和9年度（データソースを健康づくりに関する実態調査にしている項目は調査年の令和10年度）を設定

分類	次期健康づくりプラン指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)	目標値	(年度)	
大目標	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均	男性:71.94年 女性:75.63年	(R元)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	(R7)	
			日常生活に制限のある期間（不健康な期間）の平均の男女差	2.93年 (男性:8.50年、 女性:11.43年)	(R元)	日常生活に制限のある期間の平均の男女差の縮小	(R7)	
基本目標1 個人の行動と健康状態の改善	1-1 生活習慣の改善（リスクファクターの低減）	(1) 栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの者の割合の減少）	20～60歳代男性の肥満者の割合（BMI：25以上）	31.3%	(R4)	22.0%	(R10)
			40～60歳代女性の肥満者の割合（BMI：25以上）	22.0%	(R4)	16.0%	(R10)	
			20歳代女性のやせの者の割合（BMI：18.5未満）	18.9%	(R4)	15.0%	(R10)	
			低栄養傾向の高齢者の割合（BMI：20以下の高齢者の割合）	21.8%	(R4)	20.0%	(R10)	
			小学1年生の肥満傾向児の割合	6.81%	(R4)	減少傾向	(R11)	
			小学5年生男子の肥満傾向児の割合	15.46%	(R4)	減少傾向	(R11)	
			小学5年生女子の肥満傾向児の割合	11.52%	(R4)	減少傾向	(R11)	
			中学生女子痩身傾向児の割合	2.94%	(R4)	減少傾向	(R11)	
			バランスのよい食事を摂っている者の増加	小学生の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂取する者の割合	69.1%	(R4)	87.0%	(R10)
				中学生の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂取する者の割合	65.5%	(R4)	87.0%	(R10)
				20歳以上の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂取する者の割合	43.1%	(R4)	50.0%以上	(R10)
			朝食を欠食する者の減少	中学3年生における朝食をほとんど食べない者の割合	3.6%	(R4)	全国平均値以下	(R5)
				20-30代における朝食をほとんど食べない者の割合	25.3%	(R4)	20.0%以下	(R10)
			新	野菜摂取量の増加	20歳以上の1日350g以上の野菜を食べていると思う者の割合	12.8%	(R4)	13.6%以上
新	食塩摂取量の減少	20歳以上の塩分を控えていると思う者の割合	55.9%	(R4)	78.0%以上	(R10)		

## 次期北九州市健康づくり推進プラン指標

分類	次期健康づくりプラン 指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)	目標値	(年度)	
基本目標1 個人の行動 と健康状態 の改善	1-1 生活習慣の改善 (リスク ファクター の低減)	(2) 身体活動・ 運動	運動習慣者の増加	20～64歳男性の運動習慣者の割合 (30分以上、週に3日以上運動する人)	35.4%	(R4)	38.9%	(R10)
			20～64歳女性の運動習慣者の割合 (30分以上、週に3日以上運動する人)	33.2%	(R4)	36.5%	(R10)	
			65歳以上男性の運動習慣者の割合 (30分以上、週に3日以上運動する人)	41.8%	(R4)	46.0%	(R10)	
			65歳以上女性の運動習慣者の割合 (30分以上、週に3日以上運動する人)	47.3%	(R4)	52.0%	(R10)	
		週60分以上、体育の授業 以外で運動している子ども の増加	小学5年生男子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	91.5%	(R4)	全国平均値以上	(R5)	
			小学5年生女子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	84.9%	(R4)	全国平均値以上	(R5)	
			中学2年生男子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	89.7%	(R4)	全国平均値以上	(R5)	
			中学2年生女子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	75.9%	(R4)	全国平均値以上	(R5)	
		(3) 休養・睡眠	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合	43.9%	(R4)	30.0%	(R10)
			(4) 飲酒	過度な飲酒をする者の減少 (1日あたりの純アルコール摂取量)	男性における過度な飲酒をする者の割合(40g(基準量2倍)以上)	44.0%	(R4)	32.0%
		女性における過度な飲酒をする者の割合(20g(基準量)以上)		54.5%	(R4)	38.0%	(R10)	
		妊娠中の飲酒をなくす		妊婦の飲酒率	0.6%	(R3)	0.0%	(R10)
		未成年者の飲酒をなくす		飲酒経験のある未成年者の割合(男子)	1.8%	(R4)	0%	(R10)
			飲酒経験のある未成年者の割合(女子)	2.0%	(R4)	0%	(R10)	
	(5) 喫煙	喫煙率の減少	男性における20歳以上の者の喫煙率	27.7%	(R4)	24.3%	(R10)	
			女性における20歳以上の者の喫煙率	8.0%	(R4)	6.7%	(R10)	
		妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率	3.3%	(R3)	0.0%	(R10)	
		未成年者の喫煙をなくす	喫煙経験のある未成年者の割合(男子)	0.6%	(R4)	0%	(R10)	
			喫煙経験のある未成年者の割合(女子)	0%	(R4)	0%	(R10)	
	(6) 歯・口腔の 健康	う蝕の減少	3歳児でう蝕のない者の割合	87.7%	(R4)	92.0%	(R9)	
			12歳児でう蝕のない者の割合	62.4%	(R4)	増加傾向 (67.9%)	(R11) (R8)	
		未処置歯の減少	40歳で未処置歯を有する者の割合	35.7%	(R4)	34.0%	(R9)	
			60歳で未処置歯を有する者の割合	26.2%	(R4)	18.0%	(R9)	
		歯周病の減少	中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合	19.6%	(R4)	減少傾向 (18.6%)	(R11) (R8)	
			20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	22.2%	(R4)	14.0%	(R10)	
			40歳で歯周炎を有する者の割合	53.4%	(R4)	48.5%	(R9)	
			60歳で歯周炎を有する者の割合	59.6%	(R4)	52.0%	(R9)	

# 次期北九州市健康づくり推進プラン指標

分類	次期健康づくりプラン 指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)	目標値	(年度)	
基本目標1 個人の行動 と健康状態 の改善	1-2. データ に基づく生活 習慣病の発 症予防及び 重症化予防 の更なる推 進	(1) 健診受診	特定健診受診率・特定保 健指導の受診率の向上	特定健診の受診率	34.2%	(R3)	第三期データヘルス計 画(第四期特定健康診 査等実施計画)に合わ せて設定	
				特定保健指導の実施率	19.3%	(R3)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	
			がん検診の受診率の向上	胃がん検診の受診率(40~69歳)	27.0%	(R4)	50.0%	(R10)
				肺がん検診の受診率(40~69歳)	20.5%	(R4)	50.0%	(R10)
				大腸がん検診の受診率(40~69 歳)	26.0%	(R4)	50.0%	(R10)
				乳がん検診の受診率(40~69歳の 女性)	36.6%	(R4)	60.0%	(R10)
				子宮頸がん検診の受診率(20~69 歳)の女性)	32.1%	(R4)	60.0%	(R10)
			歯科健(検)診の受診率 向上	妊産婦歯科健診受診率	38.4%	(R4)	46.0%	(R9)
				1歳6か月児歯科健康診査受診率	75.3%	(R4)	84.0%	(R9)
				3歳児歯科健康診査受診率	67.9%	(R4)	79.0%	(R9)
				歯周病(歯周疾患)検診受診率 (40歳、50歳、60歳、70歳の合計)	6.0%	(R4)	10.0%	(R9)
				19歳以上における過去1年間に歯 科健康診査を受診した者の割合	46.8%	(R4)	50.0%	(R10)
				かかりつけ歯科医がいる者の割合 (40~64歳)	69.0%	(R4)	74.0%	(R9)
		自身の血圧を管理する者の 増加		19歳以上における血圧を週に1回 程度以上測る者の割合の増加	24.8%	(R4)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	(R10)
		(2) 生活習慣病 の発症予防 (危険因子 の低減)	高血圧症の患者の減少	高血圧症の患者の割合 (180mmHg/110mmHg以上)(市国 保健診)	1.02%	(R3)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	
			脂質異常症の者の減少	脂質異常症の者の割合(市国保健 診)	15.00%	(R3)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	
			血糖コントロール不良者 の減少	血糖コントロール不良者の割合 (HbA1c8.4%以上)(市国保健 診)	1.27%	(R3)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	
			年間新規透析導入患者数 の減少	年間新規透析導入患者数の割合 (市国保加入者 千人当たり)	0.60人	(R3)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	
			メタボリックシンドローム の該当者及び予備群の 減少	メタボリックシンドロームの該当 者及び予備群の割合(市国保健 診)	35.30%	(R3)	第三期データヘルス計 画に合わせた設定	
		(3) 疾病の重症 化予防	75歳未満のがんの年齢調 整死亡率の減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率 (10万人当たり)	82.4	(R1)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定	
			脳血管疾患の年齢調整死 亡率の減少	男性の脳血管疾患の年齢調整死亡 率(10万人当たり)	35.7	(H27)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定	
				女性の脳血管疾患の年齢調整死亡 率(10万人当たり)	17.3	(H27)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定	
			虚血性心疾患の年齢調整 死亡率の減少	男性の虚血性心疾患の年齢調整死 亡率(10万人当たり)	22.9	(H27)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定	
				女性の虚血性心疾患の年齢調整死 亡率(10万人当たり)	9.6	(H27)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定	
			糖尿病の年齢調整死亡率 の減少	男性の糖尿病の年齢調整死亡率 (10万人当たり)	5.6	(H27)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定	
		女性の糖尿病の年齢調整死亡率 (10万人当たり)		2.3	(H27)	最新値(令和2年値) が公表され次第設定予 定		

## 次期北九州市健康づくり推進プラン指標

分類	次期健康づくりプラン指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)	目標値	(年度)
基本目標1 個人の行動と健康状態の改善	1-3. 生活機能の維持・向上	歯の喪失の防止	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	74.1%	(R4)	87.0%	(R10)
			80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	57.7%	(R4)	75.0%	(R10)
		口腔機能の維持・向上	50歳以上における咀嚼良好者の割合	65.8%	(R4)	80.0%	(R10)
		新 歯・口腔に関する健康格差の縮小	3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	4.1%	(R4)	2.0%	(R9)
			40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合	19.9%	(R4)	11.0%	(R10)
		新 ロコモティブシンドロームの減少	運動機能の低下のリスクがある高齢者の割合（65歳以上）	40.2%	(R4)	38.0%	(R9)
		新 骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率（健康増進法の対象年齢女性）	1.1%	(R4)	5.3%	(R10)
基本目標2 社会環境の質の向上	2-1. 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	地域との交流を楽しんでいる者の増加	40歳以上の地域との交流を楽しんでいる者の割合	22.5%	(R4)	40.0%	(R9)
		社会参加する高齢者の増加	1年間に地域活動へ参加した高齢者の割合	20.8%	(R4)	25.0%	(R10)
			1年間にボランティア活動へ参加した高齢者の割合	8.8%	(R4)	10.0%	(R10)
		健康づくりや介護予防のために取り組んでいる高齢者の増加	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることがあると答えた高齢者の割合	59.6%	(R4)	62.0%	(R10)
		市民主体の健康づくり（地域でGO!GO!健康づくり）の推進	地域の健康課題に沿った取り組みを実施している団体の増加	(集計中)		100.0%	(R9)
		心理的苦痛を感じている者の減少	心理的苦痛を感じている者の割合（K6における10点以上）	18.4%	(R2)	13.0%	(R9)
		悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の減少	男性の悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の割合	15.1%	(R2)	14.2%	(R8)
			女性の悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の割合	11.1%	(R2)	10.0%	(R8)
		自殺の減少	自殺死亡率（10万人当たり）	17.89	(R3)	13.33以下	(R8)
		2-2. 自然に健康になれる環境づくり	新 望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	家庭における受動喫煙の割合の減少（20歳以上）	12.0%	(R4)	10.2%
	飲食店における受動喫煙の割合の減少（20歳以上）			9.5%	(R4)	3.0%	(R10)
	職場（学校）における受動喫煙の割合の減少（20歳以上）			13.2%	(R4)	9.5%	(R10)
	健康づくりを推進する飲食店等、食関連事業者の増加		「きたきゅう健康づくり応援店」の登録店舗数	884店舗	(R4)	970事業所	(R9)
	2-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	新 健康経営の推進	健康経営を推進する市内企業等の増加	1,131事業所	(R4.11)	2,300事業所	(R6)
			健康づくりに関するデジタルツールを活用する者の増加	健康管理のためにスマートフォンアプリを活用する者の割合（19歳以上）	17.3%	(R5)	50.2%
新 必要な産業保健サービスを提供している事業場の増加		各事業場において必要な産業保健サービスを提供している事業場の割合	—		—	(R10)	
口腔の健康と全身の健康の関係に関する知識の普及		19歳以上における歯周病と糖尿病の関係を知っている者の割合	32.6%	(R4)	50.0%	(R10)	
		65歳以上における口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている者の割合	54.1%	(R4)	70.0%	(R10)	

## 次期北九州市健康づくり推進プラン指標

分類	次期健康づくりプラン 指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)	目標値	(年度)
基本目標3 ライフコース スアプロー チ～ライフ ステージに 特有の健康 づくりの取	3-1. 次世代	適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの者の割合の減少）（再掲）	小学5年生男子の肥満傾向児の割合				
			小学5年生女子の肥満傾向児の割合				
			中学生女子痩身傾向児の割合				
		未成年者の飲酒をなくす（再掲）	飲酒経験のある未成年者の割合（男子）				
			飲酒経験のある未成年者の割合（女子）				
		未成年者の喫煙をなくす（再掲）	喫煙経験のある未成年者の割合（男子）				
	喫煙経験のある未成年者の割合（女子）						
	3-2. 就労世代	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少（再掲）	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合				
			適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの者の割合の減少）（再掲）	20～60歳代男性の肥満者の割合（BMI：25以上）			
			40～60歳代女性の肥満者の割合（BMI：25以上）				
		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少（再掲）	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合（市国保健診）				
		過度な飲酒をする者の減少（1日あたりの純アルコール摂取量）（再掲）	男性における過度な飲酒をする者の割合（40g（基準量2倍）以上）				
女性における過度な飲酒をする者の割合（20g（基準量）以上）							
喫煙率の減少（再掲）		男性における20歳以上の者の喫煙率					
		女性における20歳以上の者の喫煙率					
3-3. 女性	適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの者の割合の減少）（再掲）	20歳代女性のやせの者の割合（BMI：18.5未満）					
	骨粗鬆症検診受診率の向上（再掲）	骨粗鬆症検診受診率（健康増進法の対象年齢女性）					
	過度な飲酒をする者の減少（1日あたりの純アルコール摂取量）（再掲）	女性における過度な飲酒をする者の割合（20g（基準量）以上）					
	妊娠中の喫煙をなくす（再掲）	妊婦の喫煙率					
	妊娠中の飲酒をなくす（再掲）	妊婦の飲酒率					
3-4. 高齢者	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることがある高齢者の増加（再掲）	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることがあると答えた高齢者の割合					
	適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの者の割合の減少）（再掲）	低栄養傾向の高齢者の割合（BMI：20以下の高齢者の割合）					
	ロコモティブシンドロームの減少（再掲）	運動機能の低下のリスクがある高齢者の割合（65歳以上）					
	地域活動・ボランティア活動へ参加した高齢者の増加（再掲）	この1年間地域活動へ参加した高齢者の割合					
		この1年間ボランティア活動へ参加した高齢者の割合					

再掲